



2015年7月31日

各 位

会 社 名 株式会社トクヤマ
代表者名 代表取締役 社長執行役員 横田 浩
(コード番号 4043 東証1部)
問合せ先 経営企画室 広報・IRグループリーダー 小林 太郎
(TEL 03-6205-4832)

中期経営計画 2017 策定に関するお知らせ

当社は、2015年度から2017年度までの新3ヵ年計画「中期経営計画 2017」を策定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 前計画の総括と新3ヵ年計画「中期経営計画 2017」

2012年5月に「成長を加速する進化」をキーワードとした3ヵ年計画を策定し、成長を加速する仕組みの構築、課題に取り組んでまいりました。成長戦略としていくつかの施策を推進してまいりましたが、その中の「戦略的成長事業の強化」に掲げた主要テーマであるトクヤママレーシアでの多結晶シリコン事業の拡大、及び新規事業の創出につきましては、予定した成果を上げるには至りませんでした。

このような状況の下、新経営体制は、足元の事業に立ち戻り、その潜在的競争力、発展性を再評価し「事業収益力の強化」を事業運営の基本的方針とする、新3ヵ年計画「中期経営計画 2017」を策定しました。「中期経営計画 2017」では顧客起点を旨とし、徳山製造所をはじめとした現有資産の徹底活用と投資抑制による生産性向上、原価低減を推進し、事業収益力の強化を図りつつ、トクヤママレーシアの黒字化、財務基盤の再建を図り、本年からの3ヵ年を「トクヤマグループ再生の礎」と位置づけました。

本計画に掲げる最重点課題を着実に達成することにより、「トクヤマグループ再生の礎となす」3ヵ年で、株主の皆様をはじめとする、ステークホルダーの皆様からの信頼を回復してまいります。

2. 計画の概要

1) 期間

2015年4月1日～2018年3月31日

2) 最重点課題と施策

①事業収益力の強化

■資産の徹底活用

- ・徳山製造所の競争力強化
- ・コーポレート開発から「事業にコミットした研究開発」へのシフト
- ・本社間接部門のスリム化・移転

■顧客起点による成長

- ・コア技術を省エネ・環境・ヘルスケアの重点分野に活かした製品開発
- ・他社とのアライアンスも含めたマーケティングによる事業拡大

②トクヤママレーシアの2017年度黒字化

本年秋の定期修理においてフル稼働体制を確立し、2017年度の通年黒字化を目指す

③財務基盤の再建

- ・既存事業の収益力強化による事業利益増と資産売却による純資産の早期回復
- ・有利子負債削減

3) 最終年度達成目標

売上高	:	3,350 億円
営業利益	:	340 億円
営業利益率	:	10 %
有利子負債	:	1,000 億円削減

4) 前提

為替レート：115 円／US\$

国産ナフサ：46,000 円／kℓ

以上